

救急講演会と 応急手当の体験

あなたの大切な人が倒れたら…

あなたは落ち着いて手当ができますか？

もし、あなたの家族など大切な人が、目の前で倒れたらどうしますか。心臓の動きが急に止まった患者さんの心電図を見ると、心室細動が多く、電気ショックにより心臓の動きを復活できる状態であることが分かっています。心臓が止まった後は、**1分経つごとに7～10%ずつ**生存率が低くなっていきます。

誰でも簡単に応急手当が行えます。

- ①呼吸の確認は、胸とお腹が動いているか観察する。
- ②呼吸がなければ、ただちに胸骨圧迫を開始する。
- ③人工呼吸ができる場合は、胸骨圧迫と人工呼吸の比率は30：2で行う。
- ④AEDによる電気ショック後はただちに胸骨圧迫を行う。

皆さん応急処置を一度体験してみましょう。

- 胸の真ん中を圧迫 ● 強く（成人：少なくとも胸が5cm沈むまで）
● 速く（1分間に少なくとも100回のテンポ）
● 絶え間なく（中断は最小限にする）



日時

平成25年

2月16日 土 14:00～16:00

場所

じゅうろくプラザ (5階大会議室)

岐阜市橋本町1-10-11 TEL 058-262-0150 ※事前申し込みは必要ありません。

入場
無料

講演 「最先端の救急医療」

14:05～14:45

講師：岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学分野教授 小倉 真治 先生

実習 「心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の実習」

14:50～15:50

講師：岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学分野教授 小倉 真治 先生
岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター臨床講師 名知 祥 先生